

平成 28 年度

福井県立武生高等学校

同窓会総会

日 時 平成 28 年 5 月 28 日(土) 午後 2 時
(総会・特別講演 パーティー・懇親会)

場 所 武生パレスホテル 平安の間

治 革

(旧制 県立武生中学校)

明治31年 3 月 1 日 福井県立武生尋常中学校創設
 明治32年 4 月 1 日 福井県武生中学校と改称
 明治34年 6 月12日 福井県立武生中学校と改称

(旧制 県立武生高等女学校)

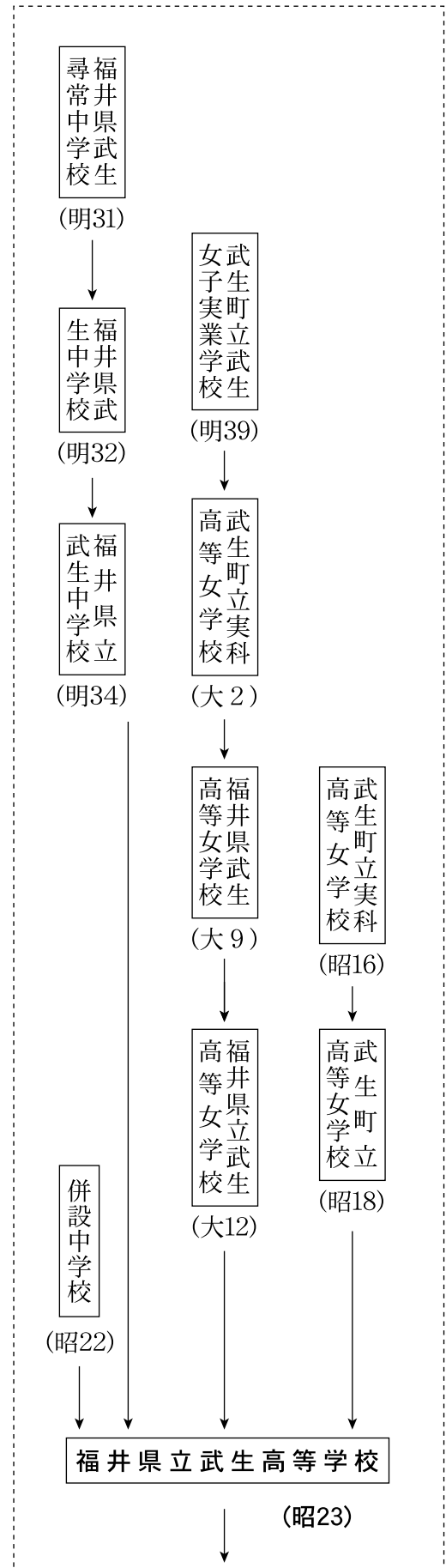
明治39年 6 月 9 日 武生町立武生女子実業学校創設
 大正 2 年 2 月27日 武生町立実科高等女学校と改称
 大正 9 年 3 月10日 福井県武生高等女学校と改称
 大正12年 4 月 1 日 福井県立武生高等女学校と改称

(旧制 町立武生高等女学校)

昭和16年 4 月21日 武生町立実科高等女学校認可
 昭和18年 4 月 1 日 福井県武生町立高等女学校と改称

(福井県立武生高等学校)

昭和23年 4 月 1 日 学制改革により福井県立武生中学校、
 福井県立武生高等女学校、福井県武生
 町立高等女学校を統合し、福井県立武
 生高等学校に改組し、普通・家庭・商
 業・工業の4課程を設定
 定時制（本校・池田分校・今庄分校
 および粟田部分校）を併設
 昭和30年 4 月 1 日 新校舎第1期工事完成、現在地に移転
 昭和34年 4 月 1 日 工業課程は武生工業高等学校として
 分離独立
 昭和35年11月 1 日 新校舎工事完成、落成式挙行
 昭和38年 5 月 8 日 プール開き挙行
 昭和40年 4 月 1 日 武生商業高等学校新設に伴い商業科
 募集停止
 昭和40年 4 月 1 日 定時制池田分校は全日制池田分校となる
 昭和40年 5 月30日 第二体育館落成式挙行
 昭和42年10月30日 生徒指導実験学校研究発表会を行う
 昭和43年11月 1 日 創立70周年記念式を行う
 昭和44年 4 月 1 日 理数科設置
 昭和44年 7 月19日 創立70周年記念館落成式
 昭和53年11月 1 日 創立80周年記念式を行う
 昭和55年12月23日 普通教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和57年11月24日 特別教棟改築、鉄筋校舎完成
 昭和59年 3 月31日 音楽教棟完成
 平成 3 年 3 月31日 本館・第1体育館リフレッシュ工事、
 正門並びにシンボル・ガーデン完成
 平成 4 年 1 月31日 定時制教棟改築着工
 平成 4 年10月31日 定時制教棟完成
 平成 5 年 3 月20日 弓道場完成
 平成 5 年12月27日 第2体育館リフレッシュ工事完成
 平成 7 年 4 月 1 日 定時制課程単位制設置
 平成10年11月 1 日 創立100周年記念式を行う
 平成10年11月 6 日 葵講堂完成
 平成12年 3 月31日 生徒会館（記念会館）リフレッシュ工事完成
 平成15年 2 月10日 第1教棟耐震補強工事完成、第1体育館
 改築着工
 平成15年10月31日 第1体育館完成
 平成18年 2 月14日 第2体育館完成
 平成20年 4 月 9 日 平成20～24年度、文部科学省からスーパー
 サイエンスハイスクールの指定を受ける
 平成25年 4 月 1 日 平成25～29年度、文部科学省からスーパー
 サイエンスハイスクールの指定を受ける



武生中学校校歌

作詞 堀井 磊

一、越智の高嶺の彼方には

波幾千里日本海

巽の空に仰ぎ見る

御嶽の山は巍峨として

その秀嶺の影ひたす

日野の流れの清きかな

二、星霜経りし国府の跡

功は高き藤垣や

三つの川水治めけむ

君味真野の宮所

杣山松を吹く風は

忠義にはやる矢叫びか

三、栄ある歴史偲びつゝ

紫明の天地ながめつゝ

心武生の学舎に

知徳をみがく五春秋

朝日とのぼる向上の

誰百難に屈せむや

四、赤帝焰を息吹く時

熱球宙を飛ぶところ

朔風雪をふぶく時

竹刀火花の散るところ

血潮はわきて青春の

男児の腕高鳴れる

五、嗚呼東海に覇を唱ふ

国をになはむ任重く

母校の誉世の光

かゞやかすべき南越の

健児はわれぞ芳ばしく

咲かむ万朶の山桜

武生高等女学校校歌

御歌所寄人 鳥野幸次先生校閲

作詞 清水政之

一、男大迹の皇子のおはしけむ

ゆかりたふとき道の口

武生の国府と名に立ちて

文化の花も先づ咲きし

昔の跡に開けたる

まなびの園の名もよしや

二、忠義に燃ゆる柚山の

紅葉の色をかざしにて

越前富士に積む雪の

清きを己が心にて

日野の川波絶えずのみ

勉め励まんいざやいざ

三、後の宮の詠みましし

御歌の意かしこみて

人の中にもをみなたる

道の誠をみがきつつ

家を身をもととのへて

千代の鏡と仰がれむ

福井県立武生高等学校校歌

作詞 佐藤春夫

作曲 大中寅二

一、都に遠く雲閉す

日野の盆地と云ふ勿れ

山河穢れず人怜く

若人の夢みな清し

二、武生の国府とうたはれし

代々の文化のあとを見よ

史上に残る名に富むを

郷土のほまれ誰か継ぐ

三、味真野の子や丹生の子の

学びに集ふ二千人

校舎あかるく庭ひろく

朋友師弟 睦しき

四、いかにか生くと人間はば

我は明朗自律の児

まことを求め道に生き

世に尽さんと答へまし



ご 挨拶

同窓会会長 三田村 俊 文

新緑の候、武生高等学校同窓会の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

本日は、平成28年度同窓会総会のご案内を申し上げましたところ、ご多忙の中多数の皆様のご出席を賜り厚くお礼申し上げます。

また、本年度の総会開催にあたりましては、実行委員長 野田 義弘様をはじめ昭和54年卒業の方々を中心に関係各位のご尽力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

4月14日熊本県、大分県を中心に熊本地震が発生致しました。余震が続き各地で甚大な被害が出ています。多くの方々が被害に遭われ、避難所生活を余儀なくされている状況であり、政府、自治体やボランティア等多くの人々が、復興に向けて支援活動を行なっています。一日も早い復興を心から願っております。

さて、27年度の同窓会事業につきましては、順調に運営することができました。また、各支部におかれましても支部総会、懇談会を通じて交友を深められ積極的にご活動いただいております。皆様には、日頃より同窓会活動の推進にあたり格別のご支援・ご協力をいただいておりますことにあらためて感謝申し上げます。

今年のお正月1月2日、3日に行われた第92回箱根駅伝において、青山学院大学が2年連続2度目の総合優勝を果たし、さらに1区から10区まで一度もトップを譲らないという39年ぶりの完全優勝を達成しました。

同校の監督の指導方針として、各自の自主性を尊重し、自分で目標を立てて実行するよう宣言させることで、モチベーションを高めさせました。つまり、人から言われるのではなく、自分たちで自発的に目標を定めて『やる』と言わないと、モチベーションの向上には繋がらないということなのです。

このことは、教育にも当てはまると思います。上から一方的に目標を押しつけるだけではなく、生徒に自主的に目標を立てさせたことが、良い結果に繋がったわけです。

同窓会としても、学校とスクラムを組んで、激変の社会において自立できる人間を育成する為のサポートを行なっていきたいと思います。また、会員の憩いの場として、各事業活動を通じて、母校の存在価値を高めていきたいと考えていますので、今後とも皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、母校武生高等学校の限りないご発展と、同窓会会員皆様のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



ご 挨拶

学 校 長 藤 澤 春 和

本日、平成28年度武生高等学校同窓会総会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。日ごろは三田村俊文会長様をはじめ、役員・理事の方々、同窓会員の皆様方には、本校教育推進のために多大なるご支援、ご配慮を賜り厚くお礼を申し上げます。

先般、会長様にご挨拶に伺いました時に、「武生高校は、いろんな個性をもった子どもたちが、勉強や部活動などに、県下でも最も生き生きと取り組んでいる学校である。」と言われました。これからも、武生高校の教育が充実し、在校生や卒業生の方々が、ますます自分の学校に自信と誇りをもっていただけるよう、教職員が力を合わせ、誠心誠意努力していく所存でございますので、どうかよろしくお願い致します。

私は、子どもたちに話をするときにキーワードとしている二つの言葉があります。一つは「勉強で人生が変わる」です。あるアメリカの女性校長が述べていた言葉です。子どもたちが、何でも吸収できる高校時代に、大いに知識を吸収し、深く考え、主体的に学んでほしいと思っています。勉強が将来の仕事ややりがい、自分の幸せな生活に大きく関わってきます。もう一つは「誰かのために生きてこそ人生には価値がある。」というアインシュタインの言葉です。人のため世のためになってこそ、本当に人生には価値があると言えるのではないのでしょうか。子どもたちには、学ぶことにより自分の将来のしっかりとした基盤をつくり、社会に貢献できる人材になってほしいと願っています。

さて、本校の現状について簡単に申し上げたいと思います。現在、全日制には970名、定時制には147名、池田分校には44名の合計1161名が在籍しています。池田分校は、昨年度も全員が進級、卒業をしました。連携型の中高一貫教育に取り組み、こども園や老人ホームなどでの奉仕活動、地域の環境美化の活動などに取り組み、コミュニケーション力など社会性の育成に重点的に取り組んでいます。

また、定時制は、中学校時代に不登校などの経験を持つ生徒や外国籍の生徒など多様な生徒が入学していますが、多様性を認め、子どもたちと丁寧に関わることに重点的に取り組んでいます。ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、だれでもがわかりやすい授業をめざす取り組みを行ったり、スクールカウンセラーなど外部の専門家と連携を強化しながら心の教育の充実を図ったりしています。

全日制は、進路実現やSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の活動などに重点的に取り組むとともに、部活動や学校行事などの充実にも力を入れています。平成27年度は、進路実現という点では、難関10大学は前年並みでしたが、金沢や福井など地元大学では、前年度が大変良かったということもあり、ややダウンしました。本年度は早めに生徒への面談や個別指導の充実を図ることができるよう既に動きはじめています。SSHでは、普通科も理数科も問題解決型の学習に取り組んでいます。部活動では、ソフトテニスやオーケストラなど多くの部活動が全国大会に出場しました。

学校再編では、定時制夜間部や池田分校が対象になっています。高校生の生徒数が減少するということもあり、避けては通れない状況になってきているのが現実であります。

最後になりますが、本年度総会のお世話をいただきました昭和54年卒業の皆様のご尽力に対しまして心から敬意を表しますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。同総会のますますのご発展と、会員の皆様の一層のご健勝、ご多幸をお祈りしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成28年度 武生高等学校同窓会総会日程

14 : 00 ~ 14 : 40

総 会 (於 : 3 階 平安の間)

- 1 開会のことば 実行委員長 野 田 義 弘
- 2 物故者に対する黙とう
- 3 同窓会会長挨拶 三田村 俊 文 氏
- 4 学 校 長 挨 拶 藤 澤 春 和 氏
- 5 議 事
 - (1) 平成 27 年度事業報告
 - (2) 平成 27 年度決算報告
平成 27 年度会計監査報告
 - (3) 役員改選について
 - (4) 平成 28 年度事業計画案審議
 - (5) 平成 28 年度予算案審議
 - (6) その他
- 6 報 告 事 項
 - (1) 支部報告
- 7 閉会のことば 副実行委員長 上 野 浩 一

15 : 00 ~ 15 : 50

特別講演

(於：3階 平安の間)

「これからの人生をすこやかに送るために」

— 糖尿病の予防と治療から学ぶこと —」

福井県済生会病院 内科部長

番 度 行 弘 氏 (昭和54年卒業)

16 : 05 ~ 17 : 40

パーティー・懇親会

(於：3階 鳳凰の間)

- ## 1 開会のことば

- 2 実行委員長挨拶 実行委員長 野田 義弘

- ### 3 同窓会代表挨拶

- 4 乾 杯

談 飲

アトラクション ・ ピアノ演奏

・バンド演奏

- 5 万 歲 三 唱

- 6 謝 辞 副実行委員長 国 久 敏 弘

- ## 7 閉会のことば

平成27年度 事業報告

会計監査

4月13日(月) 16:00～ 武生高等学校応接室

第1回役員会・理事会

4月24日(金) 18:30～ 武生パレスホテル

- (1) 平成26年度事業報告
- (2) 平成26年度決算報告・会計監査報告
- (3) 平成27年度事業計画案
- (4) 平成27年度予算案

懇親会

平成27年度総会

5月23日(土) 14:00～ 武生パレスホテル

- (1) 平成26年度事業報告
- (2) 平成26年度決算報告・会計監査報告
- (3) 平成27年度事業計画案
- (4) 平成27年度予算案

特別講演

演題「アルツハイマー病診断・治療の最前線（PET／MRIを中心に）」

講師 埼玉医科大学病院 核医学診療科 教授 医学博士

松成 一郎 氏（昭和53年卒業）

パーティー・懇親会

総会実行委員会引き継ぎ会

7月21日(火) 18:30～ 武生高等学校葵講堂

参加者 平成27年度実行委員会 3名

平成28年度実行委員会 2名

事務局 1名

第48回松柳会総会

8月 1日(土) 11:00～ 武生パレスホテル

- (1) 平成26年度事業経過報告
- (2) 平成26年度会計報告
- (3) 平成26年度監査報告
- (4) 平成27年度事業計画(案) 審議
- (5) 平成27年度予算(案) 審議
- (6) その他 松柳会50周年記念誌の発刊について

懇親会

第36回石川県支部総会

9月26日(土) 15:30～ 金沢ニューグランドホテル

(1) 石川県支部の活動報告

(2) 会計報告

講演

演題「声は人なり一心と現実のつながり」

講師 フリーキャスター 横田 幸子 氏

懇親会

第2回役員会・理事会

10月23日(金) 18:00～ 武生商工会議所

関西支部総会 第12回20周年記念総会

10月25日(日) 11:00～ KKRホテル大阪

(1) 活動及び庶務事項報告

(2) 通常運営収支報告書

(3) 支部組織・役員選任等

記念講演

演題「ふるさと 越前市は、いま」

講師 越前市長 奈良 俊幸 氏

懇親会

第3回役員会

平成28年2月 5日(金) 19:00～ 武生高等学校葵講堂会議室

役員選考会

2月12日(金) 18:30～ 武生高等学校葵講堂会議室

同窓会誌発行 3月1日(火)

全日制卒業式 3月2日(水) 武生高等学校第2体育館

定時制卒業式 3月3日(木) 武生高等学校定時制体育館

池田分校卒業式 3月3日(木) 武生高等学校池田分校体育館

平成27年度 武生高等学校同窓会会計 収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	27 年度予算	27 年度決算	比 較 増 減	備 考
繰 越 金	636,178	636,178	0	
入 会 金	1,158,000	1,143,000	△ 15,000	全日320、分校15、定時制46 (1名3,000円) 昨年度より、全△18、分△5、定+6
雑 収 入	5,822	15,134	9,312	お酒代、預金利息
寄 付 金		150,000	150,000	
合 計	1,800,000	1,944,312	144,312	

【 支 出 】

項 目	27 年度予算	27 年度決算	比 較 増 減	備 考
会 議 費	150,000	151,708	1,708	理事会(4月、10月)
旅 費	250,000	230,790	△ 19,210	旅費、懇親会等(関西、石川)、支部来福旅費
消 耗 品 費	5,000	60	△ 4,940	金封
通 信 費	150,000	133,536	△ 16,464	電話料、郵送料、インターネット利用料、HP年間管理料
慶 弔 費	20,000	0	△ 20,000	香典、祝電
事 務 費	20,000	20,000	0	事務手当
支 部 補 助 費	411,500	409,500	△ 2,000	関東・関西・松柳会10万、東海3万、石川5万、池田7,500円、定時22,000円
母 校 振 興 費	40,000	7,510	△ 32,490	武高説明会諸費用
積 立 金	400,000	400,000	0	特別会計(定期預金)へ
予 備 費	353,500	63,540	△ 289,960	記念会館補助等
合 計	1,800,000	1,416,644	△ 383,356	

平成 27 年度 収入合計 1,944,312 円

平成 27 年度 支出合計 1,416,644 円

平成 28 年度への繰越金 527,668 円

同窓会資産

単位：円

一 般 会 計	普 通 預 金	527,668
特 別 会 計	定 期 預 金	15,405,270
同 窓 会 会 報 会 計		4,786,644
合 計		20,719,582

会計収支監査の結果、諸帳簿及び証拠書類等は、適正に処理されていることを認めます

平成28年 4 月 1 2 日

監 事 鎌谷 慶昭 

監 事 吉田 陽子 

平成27年度 武生高等学校同窓会 会報特別会計収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：円

収 入 の 部	金 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	4,595,054	
平成27年度本校卒業生	480,000	1,500 円× 320人
新 規 購 読	0	
合 計	5,075,054	

支 出 の 部	金 額	備 考
会 報 発 行 費	287,382	国府印刷 105,408円 サラト 181,974円
残高証明発行手数料	1,028	514円×2
合 計	288,410	

平成 27 年度 収入合計 5,075,054 円

平成 27 年度 支出合計 288,410 円

平成 28 年度への繰越金 4,786,644 円

平成28年度 事業計画（案）

平成28年

- | | |
|-----------|----------------|
| 4月12日（火） | 会計監査 本校応接室 |
| 4月22日（金） | 第1回役員会、理事会、懇親会 |
| 5月28日（土） | 平成28年度 同窓会総会 |
| 8月 1日（月） | 第49回松柳会総会 |
| 10月28日（金） | 第2回役員会、理事会、懇親会 |

平成29年

- | | |
|-------|----------------|
| 2月 下旬 | 同窓会報 発行 |
| 3月 初旬 | 全日制卒業式（同窓会入会） |
| | 定時制卒業式（同窓会入会） |
| | 池田分校卒業式（同窓会入会） |

各支部総会

- | | |
|---------|-----------|
| 関東支部総会 | 6月19日（日） |
| 石川県支部総会 | 9月17日（土） |
| 東海支部総会 | 11月 6日（日） |

平成28年度 武生高等学校同窓会会計 予算書(案)

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

一般会計

【 収 入 】

単位：円

項 目	28 年度予算	備 考
繰 越 金	527,668	前年度繰越金
入 会 金	1,113,000	全日322、分校12、定時37 (1名3,000円)
雑 収 入	4,332	利息等
合 計	1,645,000	

【 支 出 】

単位：円

項 目	28 年度予算	備 考
会 議 費	150,000	理事会(4月、10月)
旅 費	250,000	関西・石川県支部総会、各支部来福旅費
消 耗 品 費	5,000	事務用品等
通 信 費	150,000	電話料、郵送料、HP年間維持管理料、インターネット利用料
慶 弔 費	20,000	
事 務 費	20,000	事務手当
支 部 補 助 費	404,500	関東・関西・松柳会10万 石川5万 東海3万 池田@500 定時@500
母 校 振 興 費	10,000	武生高校紹介用諸費用
積 立 金	400,000	特別会計(定期預金)へ
予 備 費	235,500	記念会館補助等
合 計	1,645,000	

※ 款項目の流用は理事会にご一任ください

役員改選について

平成27年度武生高等学校同窓会 役員・理事一覧表

2015/10月現在

役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次	役 職	氏 名	卒業年次
会 長	◎ 三田村 俊 文	31	理 事	清 水 花 子	41	理 事	◎ 田 中 大 成	53
副会長	◎ 三田村 久 治	24	〃	玉 村 一 男	42	〃	長谷川 和 弘	53
副会長	◎ 堀 婦佐子	30	〃	大 平 昌 宏	42	〃	脇 田 昇 治	53
副会長	◎ 岩 堀 真理子	35	〃	松 井 透	43	〃	上 野 浩 一	54
副会長	◎ 河 合 敏 一	36	〃	満 月 広 昭	43	〃	野 田 義 弘	54
副会長	◎ 上 木 義 晴	45	〃	井 上 和 治	44	〃	坂 口 順 一	55
会 計	◎ 山 田 洋 三	35	〃	杉 本 はじめ	44	〃	平 山 勝 康	55
監 事	◎ 鎌 谷 慶 昭	32	〃	◎ 笠 原 章	45	〃	奈 良 俊 幸	56
監 事	◎ 吉 田 陽 子	22	〃	栗 塚 俊 夫	46	〃	萬 谷 宏 治	56
理 事	岸 本 輝 夫	28分	〃	藤 木 茂 之	46	〃	吉 村 文 男	56
〃	川 口 忠 治	29分	〃	吉 田 津 義	47	〃	加 藤 幸 紀	57
〃	◎ 吉 田 勉	31	〃	五十嵐 公 二	47	〃	村 上 栄 樹	57
〃	◎ 堀 川 利 彦	32	〃	宗 近 博 之	47	〃	帰 山 明 朗	58
〃	小 川 康 子	33	〃	◎ 斎 藤 真理子	48	〃	時 田 和一良	58
〃	増 沢 幸 雄	33	〃	三 村 昌 之	48	〃	宮 本 俊	58
〃	上 木 力 夫	34定	〃	白 崎 弘 康	48	〃	坂 野 正 仁	59
〃	◎ 香 川 克 子	37	〃	奥 山 義 治	49	〃	森 中 裕 信	59
〃	斉 藤 敏 機	37	〃	加 藤 明 之	49	〃	橋 本 達 昌	60
〃	山 本 正 敏	37	〃	岡 田 武 廣	50	〃	深 尾 美 樹	60
〃	長谷川 聖	38	〃	関 孝 夫	50	〃	仲 倉 典 克	61
〃	谷 尾 清 隆	39	〃	田 中 康 和	50	〃	是 広 憲 一	61
〃	◎ 五十嵐 義 和	40	〃	加 藤 団 秀	51	〃	月 岡 幹 雄	62
〃	上野谷 憲 示	40	〃	河 嶋 衛	51	〃	石 川 純 也	63
〃	橋 本 和 雄	40定	〃	松 浦 宏 由	51	〃	武 藤 英 樹	63
〃	石 田 正 人	41	〃	賀 川 典 明	52	〃	渡 辺 和桂子	63

◎は常任理事

各支部

顧 問

事務局

	氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次		氏 名	卒業年次
関東支部長	◎ 田 中 節 夫	37	学 校 長	片 野 正 人		書記会計	山 本 真 司	56
関西支部長	瀧 波 英 之	30	教頭（全日制）	畑 中 正 美	52	調 査	南 良 幸	
関西支部長代理	◎ 武 田 道 雄	30	教頭（定時制）	河 野 和 博		調 査	垣 内 永	50
石川県支部長	◎ 江 端 義 幸	44	教頭（分 校）	松 田 透		調 査	本 好 祐 爾	62
東海支部（代）	◎ 馬 場 文 雄	42				調 査	田 中 寿 和	63
						会 計	フェルナンデス真由美	

◎は常任理事

校内理事

分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次	分 担	氏 名	卒業年次
調 査	山 岸 裕 子	49	調 査	三 川 智 央	60	調 査	野 村 あゆみ	H06
〃	盛 高 宏 嗣	52	〃	上 木 俊 哉	61	〃	辻 崎 千 尋	H06
〃	森 長 淑 子	52	〃	関 陽 一	62	〃	吉 村 満 美	H07
〃	伊 藤 正 隆	53	〃	野 村 晶 彦	62	〃	板 垣 洋 美	H11
〃	中 野 守	54	〃	井 上 由紀恵	H01	〃	鈴 木 聡 史	H12
〃	斎 藤 正 純	57	〃	杳 村 恵 美	H03	〃	久 島 裕	H12
〃	辻 川 広 也	58	〃	佐 野 明 彦	H04	〃	山 田 恭 子	H16
〃	酒 井 龍 弥	59	〃	平 井 優 子	H05			

武生高等学校同窓会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は福井県立武生高等学校同窓会と称する。
- 第2条 本会の事務局は福井県立武生高等学校内に置く。
- 第3条 本会は地域あるいは職域ごとに支部を設けることができる。

第2章 目的及び事業

- 第4条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 母校の教育向上のための協力
 3. その他前条の目的を達成するための事業

第3章 会 員

- 第6条 本会の会員は正会員と特別会員の2種からなり、それぞれに該当するものは下記のとおりである。
- 正 会 員
1. 旧武生中学校の卒業生
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の卒業生
 3. 旧武生高等学校併設中学校の卒業生
 4. 武生高等学校の卒業生
 5. 前各項に掲げる学校に在学した者で、本会の承認をえた者
- 特別会員
1. 旧武生中学校の職員
 2. 旧武生高等女学校と旧町立武生高等女学校の職員
 3. 旧武生高等学校併設中学校の職員
 4. 武生高等学校の旧職員及び現職員

第4章 役員及び顧問

- 第7条 本会に次の役員を置く。
1. 会 長 1名
 2. 副 会 長 5名
 3. 常任理事 若干名
 4. 理 事 若干名
 5. 会 計 1名
 6. 監 事 2名
 7. 顧 問 若干名
- 第8条 役員の選任は次の通り行う。
1. 会長、副会長は正会員の中から総会で選出する。
 2. 常任理事は理事の中から卒業年次を考慮して選び、また分校と定時制の理事を含めて会長が委嘱する。
 3. 理事は卒業年次ごとに1～2名を会長が委嘱し、また会長が特別に委嘱することもできる。
 4. 監事は理事の中から会長が委嘱する。
 5. 顧問は理事会、総会の承認を経て会長が委嘱する。ただし、武生高等学校長及び教頭は顧問に就任する。

- 第9条
1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
 2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその職務を代行する。また会務（財務、総会、会報、名簿など）に分担して参与する。
 3. 常任理事は会長、副会長を補佐して、事業の立案や運営にあたる。
 4. 理事は本会の事業の立案や実行に参与する。
 5. 監事は会計及び資産状況を監査する。
 6. 顧問は会長の諮問に応じ、本会の運営に参与する。
- 第10条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第5章 会 議

- 第11条 本会の会議を分けて、総会、理事会、常任理事会とし、いずれも会長がこれを招集する。
- 第12条 総会は本会の最高決議機関で毎年1回開催する。ただし会長が必要と認めたときは臨時に開くことができる。司会は出席者の中から選ぶ。
- 第13条 総会で審議する事項は、次の通りである。
1. 会長、副会長の選出
 2. 常任理事・理事・会計及び監事・顧問の承認
 3. 決算及び会務・事業報告
 4. 予算案及び事業計画案
 5. その他の必要な事項
- 第14条 議決は出席者の過半数の賛成を必要とする。
- 第15条 理事会は会長が必要と認めたときに開催する。ただし理事総数の3分の1以上の出席者がいなければ成立しない。理事会の審議事項は、次の通りである。
1. 総会に付議すべき事項
 2. その他の必要な事項

第6章 会計および資産

- 第16条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第17条 本会の経費は入会金、寄付金等をもってこれに充てる。ただし会報の発行については、会報購読料を徴収してこれに充てる。
- 第18条 本会の入会金は3,000円とする。
- 第19条 本会の基本資産は、総会の承認をえずに消費し、また担保に供してはならない。

第7章 会則の変更

- 第20条 本会則は理事会の承認を経て、議会の議決をえれば改正することができる。

第8章 補 則

- 第21条 本会則は平成6年4月1日に改正し、即日これを施行する。

特 別 講 演



「これからの人生をすこやかに送るために － 糖尿病の予防と治療から学ぶこと －」

福井県済生会病院
内科部長
番 度 行 弘 氏

講師プロフィール

【略 歴】

昭和54年3月福井県立武生高等学校理数科卒業
昭和60年3月金沢大学医学部医学科卒業
平成13年4月から福井県済生会病院内科部長
平成26年4月から福井大学医学部附属病院非常勤講師

【資 格】

日本内科学会認定内科専門医、日本糖尿病学会認定糖尿病専門医・指導医
日本内分泌学会認定内分泌代謝科専門医・指導医
日本高血圧学会認定高血圧専門医・指導医
アメリカ糖尿病学会、アメリカ内科学会員 など

【学 位】

平成5年 金沢大学医学博士号取得

【役 職】

日本内科学会評議員、日本糖尿病学会学術評議員、糖尿病情報学会理事
日本糖尿病療養指導士認定機構試験委員 など

【専門領域】

糖尿病、内分泌代謝、高血圧

【著書・論文】

「生活習慣病の診療ガイドライン 第1版」「外来でのインスリン療法導入をもっと積極的に」
「糖尿病患者における脂質改善薬の使い方」「糖尿病薬物療法についての疑問」など糖尿病、
内分泌関連論文多数

平成28年度 武生高等学校同窓会総会実行委員会 (昭和54年卒業)

実 行 委 員 長	野田 義弘 (9組)
副 実 行 委 員 長	総会担当：国久 敏弘 (3組) パーティー・学年同窓会担当：安藤 玲子 (5組) 広告・協賛金担当：上野 浩一 (10組)
総会・企画担当部長	八田登師男 (10組)
総会パーティー担当部長	井藤 浩一 (2組)
学年同窓会Ⅰ担当部長	野村 順一 (4組)
学年同窓会Ⅱ担当部長	小森 誠司 (9組)
広告・協賛金担当部長	伊藤 憲司 (2組)
事 務 局 長	藤井登紀実 (4組)
事 務 局 員	平井 喜浩 (1組) 福嶋 洋之 (11組) 波多野由美子 (牧田) (4組) 斉藤 司美 (鈴木) (1組)
会 計	中野 博美 (坂下) (5組)
クラス 委 員	1組 ◎水島 博司 道端 修子 2組 ◎三田村典明 小山 博美 富永 香織 (佐々木) 浅井 順子 (谷口) 井上美由紀 (辻) 3組 ◎松山 哲治 中澤真寿美 芹川 朋子 (寺岡) 4組 ◎中野 守 竹内 慎一 八田 光代 5組 ◎岩崎ひとみ (関) 石倉 光子 (三田村) 鈴木 利恵 (野川) 6組 ◎木村 至誠 上坂 朋子 川口 真弓 (加藤) 真柄直佳子 (小辻) 7組 ◎山口 明彦 玉木 茂明 渡辺喜代美 (富田) 8組 ◎中山 孝士 佐々木靖郎 谷口 浩之 山崎 沢幸 池端 美治 (中村) 9組 ◎佐治 国之 大蔵 稔雄 10組 ◎村尾 秀一 丹羽 新吾 11組 ◎平松 正尚 駒野 修治 松谷 隆広 宇野 晃成

※順不同 () 内は旧姓

ス テ ー ジ

前役員・
現職教員

福

30 年代

祝

40年～53年

宝

55 年

誠

57年～63年

祥

54 年

聖

54 年

橘

54 年

金

役員

竹

30 年代

翁

40年～53年

慶

55 年

義

57年～63年

貴

54 年

雅

54 年

桂

54 年

藤

来賓・役員

松

30 年代

寿

40年～53年

喜

55 年

華

57年～63年

光

54 年

栄

54 年

榊

54 年

萩

役員

梅

旧制中学・
24年～28年

錦

40年～53年

豊

56 年

和

平成2年～

清

平成2年～

希

54 年

桧

54 年

堇

松柳会

禄

29 年

賀

40年～53年

幸

57年～63年

孝

平成2年～

翼

平成元年

扇

54 年

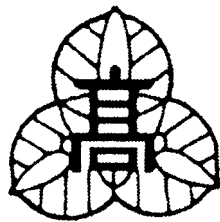
葵

54 年

銀

座席表

1. 数字は卒業年を表します。
2. 一応の目安で設定してありますので、空席に譲り合ってお座り下さい。



平成28年度
福井県立武生高等学校
同窓会総会実行委員会

武生高等学校同窓会

URL <http://www.buko-dosokai.com>

E-mail

事務局 jimukyoku@buko-dosokai.com

平成28年度
武生高等学校同窓会総会
平成28年 5 月28日

発行責任者	野 田 義 弘
編集責任者	総会実行委員会事務局
印 刷	(有) ヒ ラ ノ 印 刷